

今月の症例

PCI後ステント再狭窄に対する 左小開胸 冠動脈バイパス術 MICS-CABG

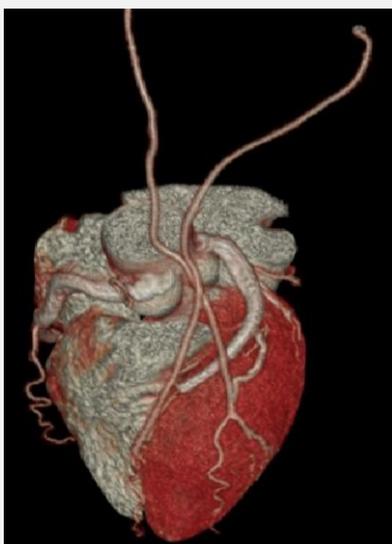


症例： 72歳 女性

病歴： 不安定狭心症に対してLMT-LAD PCI後。ステント内再狭窄2度あり紹介。



オレンジ矢印 CTO



LITA-LAD
RITA-Diagonal

LMT-LAD PCI後2度の再狭窄がありご紹介頂きました。

両側内胸動脈を用いたMICS-CABGで2枝バイパス手術を行いました。

MICS-CABGはADLの低下が少ないため、ご年配の患者様や早期仕事復帰を希望される患者様に最適な治療と考えられました。



文責 山中 翔太

スタッフ紹介 Vol.12



池崎 弘之

(いけざき ひろゆき)

副院長

麻酔科・集中治療科

東京都出身

副院長の池崎です。医師になって37年目です。集中治療室、手術麻酔、術前経食道心エコー、外来を担当しています。当院も開設8年目を迎えることができました。ひとえに、近隣病院の先生方のおかげと感謝申し上げます。私が医療に身を置いて思うこと。医療にスーパープレイは必要ありません。安全、確実に日々の業務を遂行することが求められます。私の医療におけるモットーは、誰にでもできることを誰にもできないくらいに上手くやることです。かわぐち心臓呼吸器病院ではこのモットーが実現していると確信しております。心臓血管外科手術は外科医の手技に加え、それに関わるすべての職種の優れた力量が必要とされます。ご安心ください。当院にはそれがあります。患者様をご紹介くださる近隣病院の先生方、ぜひ安心して当院心臓血管外科の門をノックしてください。

